

イタリアにおけるモダンとアヴァンギャルドの相克！

未来派の宣言文を読む

2021年3月18日（木）14:00~18:00

立命館大学衣笠キャンパス（京都） 平井嘉一郎記念図書館1階カンファレンスルーム

地図 <https://goo.gl/maps/5a4g4TkE8TeK3e6R8>



希望者にオンライン中継

参加希望者は、対面／オンラインの別を明記の上、
代表・土肥秀行 (hidedoi@fc.ritsumei.ac.jp) までご連絡ください。

研究テーマ「イタリアにおけるモダンとアヴァンギャルドの相克」とは→他国に先駆け前衛芸術運動が展開されたイタリアでは、新奇性と前時代性の清算がつかないまま、前衛とモダニティの錯綜した関係が1910年代から1920年代までに生まれていく。イタリアという特定の文脈における歴史的検証を通じ、他の類例とも対照しうる前衛観あるいはイタリア版モダニズムを提示する試みである。

まず第一歩として、「未来派の宣言文を読む」。イタリアの未来派は、宣言文が起点となり、実際の創作活動が展開されるパターンを形成した。ときに実践を凌ぐインパクトをもつともいわれる宣言文であるが、芸術家当人のみならず研究者にとっても、実作との関係において客観化しにくいものである。今回は、前衛の作品分析を図る際に、いったん宣言文を離れつつ、またそこに回帰していく、そうした研究のプロセス自体にフォーカスしていきたい。そうして宣言文の重さ（新しさ）を問い、あらためてイタリアの前衛観を醸成していきたい。

発表者として、20世紀前半のイタリアの前衛芸術活動のうち、文学・美術・写真・映像・舞踊の各分野に特化した研究者5名をむかえる。

主催 国際言語文化研究所（重点研究プロジェクト「世界／日本文学の展開とモダニティ」）

発表要旨集 https://www.dropbox.com/s/d0b5akt6y4mb2ch/20210318_abstracts.docx?dl=0

14:00-14:15 はじめに 土肥秀行（立命館大学）

14:15-14:45 発表①角田かるあ（慶應義塾大学大学院博士課程）

〈未来主義絵画技術宣言〉を読むー「着想源」にみるフォトディナミズムの概念ー

14:45-15:15 発表②石田聖子（名古屋外国語大学）

〈ヴァラエティ・ショー宣言〉を読むー未来派映画の再評価のためにー

15:15-15:45 発表③横田さやか（日本学術振興会 PD・東京大学）

〈未来派ダンス宣言〉を読むーマリネッティの舞踊論を検証するー

休憩

16:00-16:30 発表④巖谷睦月（東北学院大学）

〈未来派的宇宙再構築〉を読むー目に見えないものの知覚と空間主義への影響ー

16:30-17:00 発表⑤太田岳人（千葉大学）

〈未来派航空絵画宣言〉を読むー後期未来派運動における芸術的結集点ー

17:00-17:20 コメント 池野絢子（青山学院大学）

17:20-18:00 討論

